

宮川議員、貞岩議員が聞く
地域おこし
協力隊員

表紙写真／話をお聞きした皆さん

都市部から過疎地域などへ移住した方を、市が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、地域を活性化する取り組みが全国で広がっています。今回は、本市内で活躍されている「地域おこし協力隊員」4人にインタビューしました。

プロフィール



地域おこし協力隊員
新枝 奈田さん
【活動地域：宇山地区】



地域おこし協力隊員
石郷岡 直人さん
【活動地域：宇山地区】



地域おこし協力隊員
山田 芳雅さん
【活動地域：豊栄地区】



地域おこし協力隊員
新田 大士さん
【活動地域：河内地区】

※ 宇山は広島市に近いので

農業条件はよごと思えます

Q 自己紹介をお願いします。

新枝 25年間の民間企業勤務を

経て河内町宇山地区の協力隊員になりました。広島市南区出身です。宇山の知名度を上げるため、西条や広島で行われるイベントに参加しています。また、

宇山産の小麦の特産化に取り組み始めたところです。

石郷岡 青森出身で大学卒業後、

埼玉の種苗メーカーに就職しました。品種の開発よりも、ベストな栽培方法の開拓に興味があり、農業がやりたくて協力隊員

に応募しました。今は実際に畑に携わりながら、生えすぎる竹を活用できないかと考えています。

新田 千葉出身で大学卒業して

1年間東京で就職後、福島で原発事故で避難された方々への生

活支援に携わっていました。大学1年の時に経験した東日本大震災のボランティア活動の中で地方の活性化に携わりたいと思い、5月から河内町で防災分野での活動ができないかと取り組んでいます。

山田 三重出身で広島大学に進学して東広島に魅了されました。

現在24歳です。協力隊員になる1年前から豊栄に関わらせてもらっており、協力隊員となって



- ① インタビュー風景
- ② 協力隊員の活動を紹介している「地域おこし協力隊通信」
- ③ 加工品開発に取り組んでいるネギ農家と協力隊員
- ④ 西条中央公園で開催したひとむすびイベント
- ⑤ 河内町で開催した防災分野の研修会



からは豊栄のイベントに携わったり、他にも空き家について福富の協力隊員と共に活動したり、アスパラや白ネギ、ソラマメなどの加工に取り組んでいます。こうした活動を通じて地域に恩返しできたらと思っています。

Q 活動している地域への思いを教えてください。

新枝 宇山の魅力は、先祖から引き継がれてきたことが変わらず残っていること。でも【変わらぬ】を維持するのが実はすごく大変なことなのです。その魅力を発信できたらと思います。

石郷岡 宇山地区は大消費地の広島市に近いので、立地はいいと思います。ハウスを利用して他の人が作らないモノを作るなどの工夫をすれば、ほかの地域と比べて見劣りするとは思いません。

自分の農業を成立させれば地元の雇用を増やせるので、地域産業にも貢献できると思います。僕の隊員としての地域への活動は、むしろ任期が終わってから

始まると思います。

新田 都会に育った人間が田舎にとけ込むのは難しいこともあり、ようやく本音で話せるようになってうれしく思っています。感謝の意味も込めて地域活動に参加したいです。防災士の資格も生かして地域に寄り添いたいと思います。

新枝 私はおばちゃんなので、おかあちゃんたちにくっついて歩いていたら自然に地域に溶け込んでいました。

山田 豊栄は来るものを拒まない感じがあり、移住者も結構いて、まだちょっとは循環していると感じます。僕一人が定住するんじゃなく、僕が入ったことによって3年間で新たに5人入る方が地域のためになるので、そういう活動をしたいです。

※宇山：河内町宇山。高低差の激しい山間地、世帯数は115世帯（平成29年12月現在）